

第16回

ヨハンナ・マルツイ (ハンガリー) 全4回

その2 EMIへの録音時代 1954—55 (29—31 歳)

ドイツ・グラモフォンに名演奏、ドヴォルザークの協奏曲を録音後、マルツイはEMIの辣腕プロデューサー、レググに見出される。

EMI移籍後もマルツイは、クレツキ指揮によりブラームス、メンデルスゾーンの協奏曲を名演で残しているが、更に彼女を代表する名演として:

1. バッハの無伴奏ヴァイオリン・ソナタとパルティータを
1 年余掛けて全曲録音。
2. シューベルトのヴァイオリンとピアノの為の作品全集を録音、完成させた事が
特筆される。

また若き30歳のサヴァリッシュの指揮でメンデルスゾーン及びモーツァルトの協奏曲を録音しているが、これはマルツイの意見でお蔵入りしてしまった。が、没後リリースされた。

今回は会員のOさんより、シューベルト作品のLPをお借りしましたので、お楽しみください。



往年の女流
名ヴァイオリニストによる
演奏を聴く

演奏曲目

1. バッハ 無伴奏ヴァイオリン・ソナタとパルティータより シャコンヌ他4曲
2. シューベルト 華麗なるロンド (p)アントニエッティ (LP)
3. モーツァルト ヴァイオリン協奏曲 第3番 ト長調 指揮:サヴァリッシュ(LP)
4. シューベルト 幻想曲 (p)アントニエッティ (LP)

(以上全てモノラル)

日時 / 3月13日(日) 13:30~15:45

場所 / 久寺家近隣センター 多目的ホール

発表者 / 霜鳥 晃 シリーズ全18回 (予定)

参加自由・入場無料

問い合わせ / 04-7184-3771 佐藤 <http://www.aafc.jp/>